

沖縄 ICT フォーラム 2018in 名護

開催報告書

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2018/07/ict2018in.php>

日時：2018年7月5日（木）～6日（金）

※7月4日（水）16:00～「せきらら会」（完全招待制懇談会）

場所：名護市民会館 中ホール 〒905-0014 沖縄県名護市港2丁目1番1号

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

共催：インターネット接続安全・安心マーク推進協議会

参加費：無料

参加者：175名（4日（水）53名、5日（木）134名、6日（金）150名）

■7月4日（水）

1. CIS0 セキララネタ

【概要】

昨今のサイバー攻撃対策や内部情報漏えいの脅威は留まるところを知りません。しかし民間企業における対策情報の共有には課題があります。あの企業のセキュリティ対策はどうなっているのか知りたくありませんか？そこで、各業界を代表する経営者やCIS0にお集まりいただき、今後の企業経営とサイバーセキュリティ対策について、セキララ議論を展開します。

2. 偽装免許証ネタなど abuse 対策

【概要】

招待制プログラムの定番、サイバー犯罪の実態説明講座です。ISPのabuse担当者が対応している「偽造免許証対策」などサイバー犯罪の実態を共有し、ISPが行うべき対策や警察等との連携についてセキララ議論を展開します。

3. ブロッキングネタ

【概要】

世間を騒がせた「海賊版サイトのブロッキング」問題について、7/5(木)のセミナーに先行して、公開セッションでは共有できない裏側の真実をお話します。

■7月5日（木）

10:00-14:50（12時前後から1時間ほど昼食休憩）

世間を騒がせた「海賊版サイトブロッキング」の現状報告と法的整理等

英知法律事務所 森亮二弁護士

山崎法律事務所 長瀬貴志弁護士

株式会社 IT リサーチ・アート 高橋郁夫弁護士

JAIPA 副会長 立石聡明氏

MIAU 中川謙氏

1. これまでの経緯
2. 犯罪対策閣僚会議の「インターネット上の海賊版サイトに対する緊急対策」検証
3. 今更ながら「通信の秘密」について再度考えるー森亮二氏
 - ・緊急避難の要件は
 - ・その時社員はどうする(べき)?
4. 諸外国における状況ー高橋郁夫氏
5. 「ブロッキング」の問題点とは何なのかー長瀬貴志氏

6. ブロッキングの技術について

- ・DNS ブロックは有効なのか？
- ・URL ブロックは
- ・IP ブロックって...

7. ネットワークの中立性に関する問題その他について

- ・日本ほど中立性に関する法律が昔からあった国は少ない

By Dr. Layton

・海外では「通信の秘密」が規定されている国は少ないため、
ブロッキングは中立性の問題と考えられることが多い

8. 今後

- ・知財本部タスクフォースについて

9. パネルディスカッション

- ・オープンマイクロフォンで会場からの質疑等を中心に

14:50-15:00 休憩

15:00-16:25 「JAIPA 歴代女性部会長が語る

～あれから 11 年、女性の働く環境・意識・ICT の役割はどう変わったか」

パネリスト：

インフィニオン テクノロジーズジャパン（株） 佐々木洋子氏

NTT コミュニケーションズ（株） 大川裕子氏

富士通クラウドテクノロジース（株） 栗林真由美氏

モデレーター：

NTT コミュニケーションズ（株） 小林洋子氏

16:25-16:35 休憩

16:35-18:00 利用事業者からみたクラウド

- ・楽天株式会社（45）

スピーカー：Ian Chen 氏 (Vice Manager: Global Point Group)

サポート：Yosuke Akizuki 氏 (Manager: Payment Cloud Group)

※ 逐次通訳付きでご講演いただきます。

- ・「コンテンツ事業者からみたクラウド利用 DMM.com 編」(40)

合同会社 DMM.com 村田篤紀氏

19:00- 懇親会 ホテルゆがふいんおきなわ あけみおの間

■7月6日（金）

9:30 受付開始

10:00-11:00 基調講演：総務省のサイバーセキュリティ政策について

総務省 政策統括官（情報セキュリティ担当） 谷脇 康彦 氏

11:00-11:30 電気通信事業法改正+NICT 法の詳細解説！

総務省サイバーセキュリティ課主査 青木晋介 氏

11:30-12:00 事業法改正と ISP の取り組みについて（資料あり）

株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ） セキュリティ本部長 齋藤 衛 氏

12:00-13:00 昼食休憩

13:00-13:50 「復帰前の沖縄で暗躍していた米軍情報機関 CIC の実態に迫る」

琉球新報社 島袋貞治 氏

*日本で唯一地上戦が行われた沖縄。実の兄弟が米軍、日本軍に別れて戦った悲惨な戦争。戦後琉球政府となってからも様々な戦争の影響が色濃く残った。

戦後 70 年という時が流れなければ出てこない事実の一つを、実際に取材した記者の島袋さんに講演して頂く。

13:50-14:30 ブロッキング取りまとめ

JAIPA 立石聡明氏

琉球新報社 島袋貞治 氏

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 働き方改革×セキュリティ対策

～働き方改革のためにシンクライアントを辞める理由とは～

NTT コミュニケーションズ (株) 情報セキュリティ部長 小山 覚 氏

15:30-16:20 サイバー社会の現実と ISMS 的対策の限界

(株) ベネッセインフォシエル 代表取締役社長 丸山司郎 氏

16:20-16:30 休憩

16:30-18:00 ISP の再編の波を受けどう思う? (仮)

パネリスト:

NTT コミュニケーションズ株式会社 福島博之氏

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ 北村和広氏

ニフティ株式会社 前島一就氏

BBIX 株式会社 福智道一氏

モデレーター:

BizMobile 株式会社 小畑至弘氏

19:00- 懇親会 ホテルリゾネックス名護 ドルフィン*会場からバスで送迎します。

概要: 今回で 12 回目を迎えた沖縄 ICT フォーラムは、ついに 6 年間の離島開催から本島に戻り「名護」になりました。これにはプログラム委員の涙ぐましい努力がありました。今回ほど開催地選定に時間を取られたことは無く (次回もかも)、最後はプログラム委員長的一声でやっと決まったのです。それによって参加募集開始も遅くなり、離島開催ではなく、さらに那覇空港から時間がかかる上に移動手段は路線バスかレンタカーを調達する必要があるとのこと。いままでの参加人数は大幅に下回ると思いきや、終わってみたら 175 名もの方々にご参加いただきました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。プログラム委員一同心より御礼申し上げます。そういえば、お天気もはっきりせず、途中すごい雨で飛行機での到着が遅れた方が何人もいらっしゃいましたね。

さて、ここ数年恒例となった「招待制プログラム」はいつにも増して参加者が多く資料配付無し、写真・ビデオ撮影禁止、そして「ここだけの話」として開催。講師の方々のご講演についてはあらゆるところに工夫があり、講師と会場参加者の活発な意見交換で大いに盛り上がりました。

実質初日の 7 月 5 日は小林洋子プログラム委員長の開会挨拶で開始しました。毎年開会挨拶を報

告書に記載したいと思いつつ、バタバタして断念したのですが今回やっと記載できます。いつも良いこと言うなあ~と思ったのです。

「人は判断を間違ふ。国や会社のトップなど責任ある立場の人でも間違ふことがある。だからそれを水際で食い止めるのが我々の役目である。自由を守るために、自立・分散・協調型の組織を作り上げそれを支える、業界の一人一人が自覚を持ってやる。そして、日頃から自分の考えをまとめて、いつ誰に聞かれても、自分の言葉で話せるように準備しておく。他社はこうですよ、弁護士の見解はこう、総務省は…等、広い視点からさまざまな考え方を一人一人が語れるようにしておくことが大切である。そのための恰好の機会がこの沖縄 ICT フォーラムである。非日常空間の沖縄 ICT フォーラムではさまざまな人たちの本音トークが炸裂する。2007 年から 12 回目を迎えるがその「ここだけの話」が外に漏れたり、SNS で書かれて問題になったことは一度も無い。今日も明日も本音トークが出てくると思う。同じ悩みを抱えている人たちが組織を越えて語り合える場にしたい。もう一つ、なぜ沖縄でやるのかと言うことだが、一つはこの非日常空間だから本音トークが出るということ。もう一つは「間違えた判断」の最たるものが戦争だったこと。先の戦争で唯一本土決戦をして、県民の四分の一が亡くなったのが沖縄。今では、それさえも忘れられ、知らない人が増えてきている。現地に来て、現地の人のお話を聞いて、知識だけで無く肌感覚として皆さんに知って貰いたい。基地の問題も、現地の人とテレビで見ている我々とは温度感が違う。沖縄の犠牲の上に我々の安全保障が成り立っているという事実を発信力の高い皆さんに広めてもらいたい。そして自分に何が出来るのかも。まずはこの機会に沖縄で観光、飲食、お土産などにお金を使い次回家族でまた沖縄に来ると言う経済貢献はすぐにできること。今日から二日間、本音トーク炸裂の、建設的で前向きな議論の爽りある会にしましょう！では、開会します！」

ここ数年、毎年 150 名以上とたくさんの方々に参加していただいているものの、まだまだ何故沖縄でやるのか、意味がわからないと言う方もいらっしゃるので、今回も挨拶に入れていただきました。開会挨拶と会場注意事項（ゴミ捨て場所が無いなんてすみません。自販機でペットボトル売っているのにね。。）を経て、ファーストセッション。4 月頃から問題になっている「海賊版サイトブロッキング」について、10:00~14:50 までと長時間にわたり開催しました。皆様もご存じの通り、内閣府 知的財産戦略推進事務局による「インターネット上の海賊版対策に関する検討会議」が 2018 年 6 月 22 日から始まり、本フォーラムまで 2 回開催されています。今後も 1 ヶ月に 2 回と短いスパンでの会議開催をして、8 月末日までには取りまとめを行う事になっているとのこと。会議開催はこちらのサイトをご覧ください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/index.html>

（この会報が発行される時には、すでに取りまとめをされているかもしれません。）

現時点、日本では児童ポルノサイトのみブロッキング対応をしています。児童ポルノサイトブロッキングを行う際は通信の秘密、知る権利、表現の自由等、法的な面を含め様々な課題をつぶしながら長時間かけてブロッキングを行うようになりました。あれからすでに 7 年経ちましたが児童ポルノサイトブロッキング限り（やむを得ないこと）と考えられていたことが、急に著作権を盾にこのような話が上がって 4 月以降様々な意見交換がされています。このセッションでは、長瀬弁護士、森弁護士、高橋弁護士の 3 名と急遽 MIAU の中川氏にお声がけしてパネルディスカッションが実現しました。児童ポルノ対策からだいぶ経っているので、法的な面からなぜ対応する事になったのかを長瀬弁護士、森弁護士とともに振り返り、海賊版サイトブロッキングについては、4 月からここまでの経緯や犯罪対策閣僚会議の内容、そしてブロッキングありきの主張をしている方々の主張などを取り上げ、意見交換をしました。

で、これからどう対応していくのか！と言うところですが、法制面やブロッキングと言う行為を ISP がするということはどういうことなのか等、丁寧に説いていかないと感情で動いているであろう方々には受け入れられないのだろう。ブロッキングという行為は絶対反対！の姿勢で臨んでいくのですが、後に、丁寧に説いても、ブロッキングありきで話している人には、「聞く耳持たず」と言うことなのだ実感している今日この頃。

休憩を挟んで、歴代の女性部会長が語る～あれから 11 年、女性の働く環境・意識・ICT の役割はどう変わったか～として、パネルディスカッションが行われました。会社のトップクラスに就任している人、転職して充実した仕事について人、出産して二人のお子さんがいて（今育休中）、さらにステップアップして内外とも活動している人、多趣味で活動的な人、歴代の女性部会長の現状とここに至るまでのご苦労、環境の変化などをお話しいただきました。ご苦労と書きましたが、「苦労・嫌な事等たぶん、あったと思うんですが、忘れちゃった」的発言もされていて、先に進んでいく課程で苦労という言い方はしないところが立派な方々です。さらにこれから追いかけてくる人たちに開けた道筋を付けてくれるそんな女性達です。その後、利用者から見たクラウドとして、楽天の Ian Chen し、DMM.com の村田氏にご講演いただきました。

7 月 6 日は、「総務省のサイバーセキュリティ政策について」として総務省 政策統括官（情報セキュリティ担当）谷脇 康彦 氏にご講演いただきました。昨日の夕方のセミナー、懇親会と参加いただき、本日この講演が終わったら、即お帰りになると言うハードスケジュールの中、ありがとうございました。過去数回このフォーラムで講演していただいています、毎回とんぼ返りのような状況でいつも申し訳なく思っております。たまには、のんびり出来ないんですかねえ、現在は総務省 総合通信基盤局長になりました。続いて、総務省サーバーセキュリティ課主査青木さんに電気通信事業法改正と NICT 法の詳細を解説、事業法改正と ISP の取組についてとして、IIJ の齋藤さんにも一連の流れをご説明いただきました。昼食を挟んで、琉球新報社 島袋貞治 氏に「復帰前の沖縄で暗躍していた米軍情報機関 CIC の実態に迫る」として小林洋子委員長の挨拶でもありましたが、日本で唯一地上戦が行われた沖縄。戦後 70 年という時を経て、実の兄弟が米軍、日本軍に別れて戦った悲惨な戦争。戦後琉球政府となってからも様々な戦争の影響が色濃く残った。そんな事実の一つを、実際に取材した記者の島袋さんに講演していただきました。

その後は、働き方改革×セキュリティ対策～働き方改革のためにシンクライアントを辞める理由とは～として、NTT コミュニケーションズ（株） 情報セキュリティ部長 小山 寛 氏の絶妙な語りの講演、サイバー社会の現実と ISMS 的対策の限界として（株）ベネッセインフォシエル 代表取締役社長 丸山司郎 氏のご講演。最後のセッションは、ちょっと重い「ISP の再編の波を受けどう思う？」というタイトルでパネリスト：NTT コミュニケーションズ株式会社 福島博之氏、株式会社 NTTPC コミュニケーションズ 北村和広氏、ニフティ株式会社 前島一就氏、BBIX 株式会社 福智道一氏にお迎えして、BizMobile 株式会社 小畑至弘氏がモデレータで今後、ISP はどこに向かっていくのでしょうか？という、会場を交えてのディスカッションをしました。今回はアルコールをご用意できず申し訳ございません。次回は必ず。

先に書きましたが、悪天候の中 175 名とたくさんの方々においでいただき本当に感謝申し上げます。当協会のセミナー、イベントについては、プログラム委員はもちろんですが、参加して下さった方々がいてこそです！いつもご協力ありがとうございます。引き続きなにとぞよろしくお願いいたします。(M)

